

Archibald

ポルトローナ・フラウ「アーチボルド」



ジャン・マリー・マッソーの傑作の一つ。今年から「Archibald Large」が登場し、6つのスタイルがラインアップする。アニリン仕上げの最高級のペレフラウレザーを使用するからこそ味わえる経年変化も魅力。
Price : ¥840,000 ~



ポルトローナとはイタリア語でアームチェアの意味。ブランド名にもなっているだけあり、ポルトローナ・フラウのアームチェアへの思いには特別なものがある。これまで「Vanity Fair」や「1919」といったアイコン的な傑作を次々と世に送り出してきたが、「Archibald」はこれからの100年を担う代表作として誕生した。その伝説は早くも始まっており、2009年の発売より10年間で3万脚という驚異的な数を売り上げている。目を惹くのは背もたれに縦に入るドレープだろう。敢えて高い技術

を要す革の張り方をし、気品を添えている。同時にこのルーズ感こそが、腰をかけた際、“母親に抱かれたような”と例えられる優しい座り心地を実現している。対照的に背後は革を張り詰めてシャープな印象に。だが、よく見ると平面が一切ない緩やかなカーブを描き、そのフォルムにはグラマラスな印象さえ漂う。どのようなインテリアにも溶け込むタイムレスなデザインと、誰がどのように腰を掛けても享受できる極上の座り心地。人生最高と呼ぶに相応しい椅子で毎日を謳歌したい。

黒崎 敏 建築家／APOLLO Architects & Associates 代表取締役

「Archibald」はソファのような奥行きと上質なレザーが身体を包み込むようなホールド感が印象的ですね。リモートワークが常態化している昨今、このようなリラックスできる椅子があれば、気持ちの良いコーヒープレイクが楽しめそうです。西洋では椅子は一生使用するべきものとして大切に扱われます。それは自己を投影した分身のような存在となるからです。もちろん「Archibald」はそうした価値を有す椅子です。さらに代々受け継がれていくなかで家族の精神が宿り、そこからライフスタイルの基軸が生まれるといっても過言ではありません。



「良い椅子は座れば分かります」と黒崎さん。椅子を選ぶ際はショールームへ足を運び、長い時間何度も座り、五感で確かめることが大切だと言います。

PAVONE 読者
ご優待

公式サイトよりご来店予約をされ、ご購入された PAVONE 読者には、特別ご優待をいたします。また最新の日本版カタログをご希望の方も下記サイトよりご請求いただけます。下記サイトの必要事項を記入のうえ、内容欄に「PAVONE 優待 来店予約」または「PAVONE 優待 カタログ請求」のどちらかをご記載いただけますようお願い致します。
<https://www.idc-otsuka.jp/page/poltronafrau>

